日本知的障がい者ソフトボール連盟 東日本大会 開催要領

１　競技規則

平成３０年度全国障害者スポーツ大会競技規則によるもののほか、この要領の定めるところによる。

２　チーム編成

（１）チーム編成は、監督１名、コーチ２名とするが、選手登録者数の制限は設けない。
（２）監督・コーチが選手を兼ねることができる。その場合は、実施要項の大会参加者資格を有する者とする。

３　競技方法

（１）試合は５イニング制とし、開始後６０分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
（２）コールドゲームは適用しない。
（３）ファースト・ピッチにより行う。
（４）本塁から投手板までの距離は、１３．１１ｍとする。
（５）パスボールは適用しない。
（６）再出場（リエントリー）制・DP・FP 制を採用する。
（７）試合時間短縮のため、試合前のフィールディングはサブフィールドで行う。交代についての申告は、審判を介して監督間で口頭により申告すること。

４　服　装

（１）監督・コーチ及び選手は、同じユニフォームまたはゼッケンを着用し、帽子を着用する。
（２）打者・打者走者・走者・捕手・次打者席内にいる次打者及び一・三塁のベースコーチは、ヘルメットを着用する。また、捕手は、スロートガード付マスク・ボディプロテクター・レガースを着用する。
（３）金属製スパイクの使用を禁止する。※グランドは人工芝球場である

５　招　集

原則として、試合開始時刻は、前試合終了の１０分後とする。試合開始については、審判員の指示に従うこと。

６　審判員

各チームから１名を選出して、利害関係のない試合の塁審を行う。判定については、大会の趣旨を考慮しながらも、公平なジャッジを行うこと。

７　表　彰

優秀な成績を修めた選手に対し、表彰する。全ての試合が終了したあとに、各チーム１名の選手を監督が推薦すること。

８　その他

（１）ダッグアウトは、対戦表右側のチームを一塁側とする。
（２）試合球として、各チームイエローボール２球を試合開始時に審判員に渡すこと。
（３）やむを得ない事案が生じた場合は、監督、審判、実行委員会で話し合いを行い、大会の趣旨に従い解決すること。
（４）急病人や負傷者がいた場合は、実行委員会から救急車の搬送を依頼する。事態が急変している場合は、チームの判断で直接連絡してもよい。